

リアルタイム現地情報

J A茨城旭村いちご部会圃場巡回を行いました。

8月22日、23日、25日に、J A茨城旭村いちご部会のほ場巡回を行いました。

普及センター職員と農協の営農指導員のほか、肥料メーカーと農薬メーカーの担当者が部会員のほ場を回り、定植前の苗の生育状況を確認しました。

今年は、6月下旬～7月上旬にかけての猛暑かつ降雨量が少ない天候の影響により、挿し苗のヤケ・生育の遅れといった被害が一部で見られたものの、その後の適切な栽培管理を行ったこと、炭疽病をはじめとする病害虫の被害が少なかったことから、殆どの生産者は十分な数の定植苗を確保できていました。

今後の定植適期や定植後の天敵導入等について意見を交わし、普及センターからは栽培管理のポイントや病害虫対策について指導しました。

JA 茨城旭村いちご部会では、「とちおとめ」を中心に、「いばらキッス」、「やよいひめ」の3品種が生産されており、「いばらキッス」の作付面積は県内一となっています。販売実績が過去最高だった令和3年産を超えられるように、生産者と関係者が一丸となって高品質生産に取り組み、いちご経営体の所得向上を支援していきます。

令和4年9月12日（成長産業）



イチゴ苗の様子